

革新的CO₂分離回収・有効利用技術 シンポジウム

～地球温暖化防止に貢献する CO₂ 分離回収・利用技術の最新動向～

開催案内

1. 開催趣旨

CCS ロードマップ(二酸化炭素の年間貯留目標 2030 年 600～1200 万トン/年、2050 年 1 億 2000 万～2 億 4000 万トン/年)の実現に向けて、先進的 CCS 事業が 2023 年度から始まり 2 年が経過しました。今後、益々、事業化が加速していくと予想されます。二酸化炭素有効利用(CCU)や DAC においても、技術開発は継続して盛んに行われており、事業化推進も着実に進んでいます。また、本年は MOF (金属有機構造体)を開発した京都大学北川先生らがノーベル化学賞を受賞され、MOF を用いた CO₂ 分離回収への注目が集まり、その実用化への期待が高まっています。

こうした状況下、本年のシンポジウムでは、CCUS 技術開発、先進的 CCS 事業、MOF 利用の各最前線を広く皆様に知っていただく機会を提供します。本シンポジウムでの意見交換・ディスカッションを通して、関係する皆様の各技術開発が益々進展することを願います。

2. 開催概要

日 時: 2026 年 2 月 10 日(火)

12 時～17 時 30 分 (受付 11 時 30 分～13 時)

会 場: 東京大学 伊藤国際学術センター B2F 伊藤謝恩ホール

開催形式: ハイブリッド形式(会場での講演を web 配信)

定 員: 会場(300 名)、web(1500 名)

参 加 料: 無料

主 催: (公財)地球環境産業技術研究機構

共 催: 経済産業省、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構

次世代型膜モジュール技術研究組合

(組合員:住友化学(株)、(公財)地球環境産業技術研究機構)

後 援: (一財)エネルギー総合工学研究所、(一財)カーボンニュートラル燃料技術センター

Global CCS Institute、(公社)新化学技術推進協会、(一社)水素供給利用技術協会、

(一社)日本ガス協会、日本 CCS 調査(株)、燃料電池実用化推進協議会

共 催: (公社)化学工学会、(公社)高分子学会、(公社)日本化学会、(一社)日本膜学会、

(一財)ファインセラミックスセンター

3. 参加登録

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申し込み下さい。

https://www.rite.or.jp/news/events/2025/12/co2_2026210.html



4. プログラム

(講演) 伊藤謝恩ホール

13:00-13:05	主催者挨拶	(公財)地球環境産業技術研究機構 理事長 山地 憲治
13:05-13:10	共催者代表挨拶	経済産業省 資源・燃料部 燃料環境適合利用推進課 課長 刀禰 正樹
13:10-13:50	基調講演	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 サーキュラーエコノミー部 部長 福永 茂和 「NEDO の CCUS 技術開発 (仮題)」
13:50-14:30	招待講演①	三菱ガス化学(株) 取締役 常務執行役員 赤瀬 英昭 「メタノールを介した循環型経済構築に向けた取り組み 「CarbopathTM」」
14:30-15:10	招待講演②	INPEX 低炭素ソリューション事業本部技術推進ユニット ジェネラルマネージャー 飯田 真司 「INPEX 低炭素ソリューション事業・CCUS 事業への取り組み」
15:10-15:50	招待講演③ 通訳あり	Mark Claessen President, Svante Solutions and Digital Services 「CO ₂ capture using MOF - Next-Generation Solid Sorbent Capture: Unlocking Industrial and DAC Opportunities」 (CO ₂ 回収 - MOF を活用した次世代固体吸着剤技術:産業および DAC における新たな事業機会)
15:50-15:55	ポスター・展示の案内	
16:25-16:55	活動報告①	(公財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ グループリーダー 余語 克則 「CO ₂ 分離回収・有効利用技術開発の動向と RITE の取り組み (仮題)」
16:55-17:10	活動報告②	同 主任研究員 木下 朋大 「大阪・関西万博における DAC 実証試験結果」
17:10-17:25	活動報告③	同 主任研究員 後藤 和也 「炭素回収技術評価センター(RCCC) オープンして1年間の成果 (仮題)」
17:25-17:30	閉会挨拶	RITE 専務理事 本庄 孝志

(ポスター・展示) 多目的スペース

ポスター・展示は2回実施します。

<1回目> 12:00-13:00	【RITE】吸収液、固体吸収材、CCU 無機膜、RCCC、産業化戦略協議会 【次世代型膜モジュール技術研究組合】CO₂分離膜 【後援企業】グローバル CCS インスティテュート 【産業化戦略協議会会員企業】(株)カーボニティ
<2回目> 15:55-16:25	【GI 基金 CO₂ の分離回収等技術開発プロジェクト】 ①東邦ガス(株) [共同出展: 名古屋大学・日揮ホールディングス(株)・九州大学・九州工業大学・中央大学] ②千代田化工建設(株) [共同出展: (株)JERA、RITE]

5. 会場アクセス

最寄り駅およびバス停から伊藤国際学術センターまでの地図

